

新春

2022年

トツプインタビュー

企業・団体のトツプが今年を語る



株式会社シケン 代表取締役社長 島隆寛氏

攻めの姿勢と遊び心で、世界へ躍進

小松島市に本社を置く株式会社シケンは、入れ歯や差し歯の製造・販売で国内トップクラス。創業46年、コロナ禍において更なる挑戦の年となった。以前から、不測の事態や配偶者出産時の特別

休暇取得率100%に向けて、社員のキャリアアップを目的とした業務の多能工化を行っていた同社。「隔日出勤やリモートワークにも柔軟に着手できた。社員のリモートスキルも向上し、取引先の歯科医と技工士が遠隔でやりとりの機会も増え、信頼関係構築や満足度向上にも繋がっている」と島隆寛氏はいう。

また、新事業として補助金や節税などの情報を提供するため、10月に冊子「シケンフィナンシャル」を創刊。医院の設備投資、病気やケガなど、多くの悩みをサポートしたいという思いを表現した。

社員の工夫やアイデアが製品化することも少なくない。差し歯の製造過程において、模型製作を簡易化するための模型は、月に50万個も生産され、約3億

円の売上に貢献している。今年のは、安全な歯科用材料で製作した本格付け歯「コスチュームティース(コステイ)」を製品化。ドラキュラ仕様の歯もあり、変装道具としても人気に火がつく勢いだ。日本だけに止まらず、世界に向けた挑戦も開始。アメリカで入手した口腔内データを、3Dプリンターで造形。それを基に作業模型を製作し、入れ歯の製品

加工に取り組む。実際の石膏模型を基に造形した物と比べても、臨床レベルで使用できる完成度だ。以前よりも効率的に、質の高い日本レベルの製作物を海外へ届けることが実現する。「アフターコロナを見据えて、あえて攻めの姿勢で臨みたい」と島氏。しなやかな対応力で、次世代を担う社員と共に更なる飛躍に期待したい。

共に成長できる歯科技工所

